

だからこの街に決めました

秋田市暮らしに関するお問い合わせ

秋田市移住相談八重洲センター

☎ 0120-99-1101
✉ ro-pltk@city.akita.lg.jp
📍 東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル6階
☎ 03-6665-0189
🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1013018/1020507.html>

秋田市移住相談センター

☎ 03-3234-6871
✉ ro-pltk@city.akita.lg.jp
📍 東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館11階 秋田市東京事務所内
☎ 03-3234-6873
🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1013018/1016858.html>

秋田市企画財政部人口減少・移住定住対策課

☎ 018-888-5487
✉ ro-plpo@city.akita.lg.jp
📍 秋田県秋田市山王 1-1-1 秋田市役所 4 階
☎ 018-888-5488
🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/index.html>

秋田市移住相談
八重洲センター



秋田市公式サイト
「移住・定住」



移住専用ポータルサイト
「秋田市いいわ」



ちようどいいから、
住みやすい。

移住の先輩
秋田市データ
子育て
遊ぶ
お楽しみ
テレワーク
仕事
住まい
安心するまち
移住相談
補助金制度
アクセス



秋田市 移住ガイドブック

Akita City Life Guide Book





若者もシニアも安心して暮らせるまち 都市機能と大自然の“いいところどり”

県庁所在地であり、首都圏まで飛行機を使えば約1時間というアクセス抜群の秋田市。商業施設、医療、大学などインフラやサービスが整い、市街地から車を20分程走らせれば、山や海などの大自然があり、キャンプやスキーなどを楽しめます。

中心市街地の「秋田市文化創造館」ではマルシェやワークショップが開催され、若者や移住者が活躍する場が増えています。さらに移住後の情報交換や仲間作りを目的とした移住者交流会は、毎回大盛況。若者からシニアまで楽しめる内容を企画しています。

子育て・教育環境も充実し、子どもの学力は全国トップクラス。また、首都圏へのアクセスの良さからリモートワーク移住者も増え、リモートワークができる施設も充実しています。

若者もシニアも安心して暮らせるバランスの良いまちで、豊かな暮らしをしてみませんか。

移住専用ポータルサイト 「秋田市いいわ」

秋田市への移住を希望する方向けのホームページ。地域おこし協力隊が自身の移住体験をもとに、移住前に必要な情報や、秋田市で生活してみて感じた魅力を、分かりやすくユーモアを交えながら発信しています。秋田市での生活をお考えの方、是非お役立てください。

- ◎移住までの流れ
- ◎補助金などの手続き
- ◎企業紹介
- ◎移住後のライフスタイルの変化など

<http://akitacity110.com>



秋田市暮らし はじめの一步

秋田市に移住し、豊かに暮らすためのステップ。生活する場所、仕事、この先の人生と暮らしについて、秋田市は移住希望者をサポートします。

Step 1 暮らしをイメージしよう ▶P27

中心市街地がよいのか、自然あふれる地域がよいのか、実際に短期滞在をしてみるのもおすすめ。

Step 2 窓口に相談しよう ▶P30

さまざまな補助金もあるよ！

Step 3 仕事を探そう ▶P22-23

秋田市には、就職・起業・就農などさまざまな選択肢があります。そのための支援プログラムもあります。

Step 4 住まいを決めよう ▶P26-27

広々とした一戸建て、融雪機能があるマンションなど、さまざま。住宅購入やリフォームに対する支援や「空き家バンク」もあります。

CONTENTS

- P02 移住の先輩
 - 1 武内 良太さん
 - 2 島田 幸香さん
 - 3 中戸川将太さん
 - 4 棚谷 健一さん
- P10 秋田市データ
- P11 子育て
 - 出産・子育て
 - 子育て支援団体・プレイスポット
 - 保育所・幼稚園が安心
 - 全国トップクラスの学力
- P16 遊ぶ
 - 遊べる公園・地産地消の郷土の味
- P18 お楽しみ
 - 文化と芸術の発信地
- P20 テレワーク
 - 施設・支援紹介
- P22 仕事
 - 仕事に関する支援事業
- P26 住まい
 - 暮らしの拠点となる家探し
- P29 安心するまち
 - 病院・福祉施設紹介
- P30 移住相談
 - 移住相談窓口紹介
 - 移住者交流会
- P32 補助金制度
- P33 アクセス

各ページの情報は
令和5年3月末時点のものです



移住の先輩

1

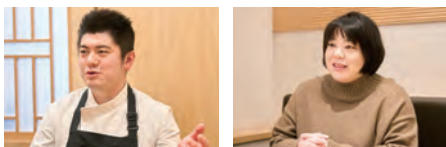
秋田で中国料理店を開業！ チャレンジも、子育ても、 支えてくれる街。

■東京都から移住

武内 ^{りょうた}良太さん
^{なみ}奈美さん
ご家族

■武内良太さん／1985年生まれ、秋田県横手市出身。岩手県盛岡市の調理師専門学校を卒業後、2005年に上京。都内で複数の中国料理店に勤め、料理長も経験する。2019年に秋田市へ移住後は、市内の中華料理店で勤務。2021年3月に「美・中国菜 武陵源」をオープン。

■武内奈美さん／1984年生まれ、山形市出身。東京都の調理師専門学校を卒業後は、都内のホテルや学校給食センターで調理師として勤務。移住後は、秋田市内の料理店で勤めた後、「美・中国菜 武陵源」を夫とオープン。



夢は、中国料理で 秋田の食材を魅せること

秋田県横手市の農家に生まれた武内良太さんは、都内で中国料理店のシェフを14年勤めたプロの料理人。2019年3月に秋田市へ移住し、2年後の2021年3月、秋田市中通に本格的な中国料理を提供するお店「美・中国菜 武陵源」をオープンさせました。

子どもの頃から手伝っていた農作業をきっかけに、秋田の食材を活かす仕事に興味を持ち、「いつか秋田で店を開くこと」を目標に修行を積んできた良太さん。「いいものは残していかないと、と思っているんです。高校生の時は毎日食べる地元の食は当たり前のものでしたが、東京に行って改めて秋田の食材のおいしさ、豊かさを再認識しましたから」と話します。

良太さんが学んだ広東料理は、中国料理の中でも素材の味を引き立たせるのが得意で、野菜の茹で方から、片栗粉の流し方まで他とは違う調理法です。いろいろなお店の中国料理をリサーチした上で、自分がつくるお店は、秋田の食材を魅せることができる広東料理をメインにしようと決めました。

東京で出会った妻の奈美さんも、同じ調理師。都内のホテルや学校給食などの現場を経験してきたことを活かし、現在、良太さんと一緒にお店を切り盛りしています。そんな奈美さんは、東京で長女・次女・三女を出産し、人の多い都会の環境で子育てしながら働くことに、少し疲れを感じていたと言います。

「夫が秋田で店を持ちたいことは前々から聞いていて、応援しようと決めていました。私は山形市出身で、自然の多い東北の良さを知っていたので、田舎で暮らすっていいなとずっと思っていました」と奈美さん。

移住へ一気に進んだ 「移住相談八重洲センター」

秋田での独立を目標にしていた良太さんですが、秋田の状況が分からない中で移住・独立することに少なからず不安も持っていました。そんなある日、奈美さんがたまたま1本のCMを目にします。

「2018年ごろでした。移住相談ができる場所が東京にあることを、テレビCMで知ったんです。これだ！と思って、すぐ秋田県のAターンサポートセンターに電話しました」。

そこからは、一気に話が進み始めます。まずは秋田県から秋田市移住相談八重洲センター(P30)につないでもらい、その後、移住に関する情報をメールで受け取れる「移住希望登録」を行いました。

「そのメールで秋田県内の企業との面談や移住相談ができる『Aターンフェア』が東京で開催されることを知って、行ってみました。ここでは移住のサポート情報はもちろん、小学校の勉強の教え方や、小学1〜6年生が実際に使っ

ているノートの展示など、教育事情も教えてもらうことができました。秋田は学力が高いと聞いていたので子どもたちが学校の授業についていけるか不安だったんですが、実際に教育現場の話を開けたのは安心感につながりました」。

このイベントで不動産会社の社長と知り合い、現在の店舗物件を紹介してもらうことができました。「いろんな情報を得られるようにしたことで、移住への動きが加速した」と良太さん。その後、次女の小学校進学や、良太さんが勤めていた料理店の移転のタイミングを機に、2019年3月に一家で秋田市へ移住しました。



内装は秋田杉をあしらったあたたかみのある空間。常連の要望を受けて誕生した看板メニューの麻婆豆腐は、甜麺醤の甘みとコク、うま味がぎゅっと詰まった一品です。



子どもはのびのび遊べて、成績もUP!

移住にあたって、長女の転校を心配していましたが、すぐに馴染んでくれて安心したという良太さん。学校の話を楽しそうにしてくれるだけでなく、なんと成績も上がったんだそうです。「先生の教え方や、少人数制クラスで先生の目の届く範囲で勉強できることも良かったのでは」と良太さんは話します。

山形市出身の奈美さんは、知らない土地で子育てするにあたって一番困ったのが「情報」だったと言います。土地勘がないので、どこに何があるのか分からず、スマホで調べる日々。しかし、秋田市の担当者が保育園事情を教えてください、不動産屋さんが小児科やスーパーの場所を教えてくださいと、少しずつ情報を集めながら、不安を解消していったと言います。

移住する際は、子育て世帯対象の「秋田市子育て世帯移住促進事業」(P32)で、引越し代や賃貸物件の初期費用を補助してもらえたのも大きな助けになりました。未就学の次女、三女がいたため、待機児童ゼロという秋田市の保育環境も安心感につながりました。

「道の駅や広い公園、海や山。子どもたちののびのびと遊ばせられるスポットが身近にあるのが、秋田市のいいところですね」とおふたり。安心して子育てができるのはもちろん、家族みんなで充実したオフタイムを過ごすことができています。



ここはチャレンジできる街

お店を開業するためには、初期の設備投資にお金がかかります。そこで良太さんは、秋田市の「創業支援事業」や「中心市街地商業集積促進事業」(現中心市街地等空き店舗対策事業)(P22)を使い、新たな事業を始めるにあたって経費の一部を補助してもらいました。

「他にも、秋田信用金庫のまちづくりファンドや、秋田商工会議所の起業塾など、本当に手厚いサポートがありました。これらのサポートは、八重洲センターで教えてもらわなければ、知ることができなかったと思います」。

良太さんは何度も八重洲センターに足を運び、不安に思ったことを尋ねたり、移住の情報を集めたりしたと言います。「チャレンジしたい人が安心してチャレンジできる」。そんな仕組みが、秋田市には整っています。

「移住に大切なことは、行動することだと思います。移住のイメージがしやすくなるので、実際に秋田市に足を運ぶのがおすすめです」と良太さん。移住と起業を両方叶えた良太さんは、これから食育活動にも力を入れていきたいと考えています。「本格的な中国料理を秋田の子どもたちに知ってもらい、子どもたち自らが作って食べる機会を作りたい」と、まだまだ秋田市でのチャレンジは続いていきます。

第11回移住WEB相談会



移住の先輩

2

大好きなアニメを仕事に。
Iターンでゼロからの
スタートを決意。

■滋賀県から移住
しまだ さちか
島田 幸香さん

■1995年生まれ、滋賀県出身。大分の大学(APU)を卒業後、地元の大学事務へ就職。高校・大学時代に韓国やフィリピンへの留学経験を持つ。



絵の経験も秋田との縁もなかった

東北地方へ一度も訪れたことがなかったという島田さんが、生まれ育った滋賀県から移住してきたのは2021年4月。友人から勧められてアニメが大好きになり、たまたま目にした求人情報で、アニメ制作会社「つむぎ秋田アニメLab」の存在を知ったと言います。「それまで絵を描いたことがなかったですし、秋田に関する知識もきりたんぼやあきたこまち、秋田犬くらいでほとんどありませんでした。でも会社でアニメーション予備校を併設していて、初心者でも受け入れてくれると知り、自信はなかったものの移住を決めました」と振り返ります。求人情報の「動画マン(ウーマン)募集」という言葉に女性を雇用することへの意識の高さを感じたことや、社長自らが予備校で教えてくれることも決め手となりました。

アニメーション予備校では約1年間に渡って基礎的な画力を身につけ、2か月の研修期間を経て、2022年6月からスタッフとして働いています。島田さんの担当は、原画と原画の間の絵を描いてスムーズな動きをつける「動画」と、決められたカラーモデルでペイントをする「仕上げ」。「全体を通して時間との戦いであったり、ひたすら同じ作業を繰り返すことなど大変なこともあります。やはり仕上げ後の動きを一番初めに見られるのはうれしいですね」とやりがいを話します。

心軽やかに、思い描く将来の実現へ

秋田市に移り住んで実感しているのは、「ストレスが少ないことですね。会社の近くに住んでいるので電車通勤しなくてもいいですし、人混みの中を歩くこともない。勤務時間は前より長くなりましたが、心の余裕が全然違います」。移住して初めて竿燈まつりを知り、昨年初めて観たそうで、「会社の窓からちょうど見えるんです。上から見る竿燈の提灯がとてもきれいで」と感動した様子。休日には千秋公園へ散歩に出かけて景色を眺めたり、絵を描いたりして過ごすことも。「車を購入して海にも出かけたいです」と、プライベートの充実も見据えています。

「いずれはキャラクターに芝居をつけられる原画を担当したい」と目標を語る島田さん。今後、会社が海外進出した際には、「高校や大学時代の留学経験を活かせると思いますので、それまでに自分も成長して実力をつけて、アニメーターとして海外に行ってみたいですね」。公私ともに、目標や夢に向かって自分のペースで歩みを進めています。



秋田市の暮らしを楽しみながら、着実なスキルアップを目指しています。





移住の先輩

3

異動なしの移住を リモートワークで実現。 公私ともに充実した毎日に。

■東京都から移住

なかがわ まさひろ
中戸川 将大さん
ゆか
悠花さん
ご家族

■中戸川将大さん/1983年生まれ、神奈川県出身。2010年NTT東日本 秋田支店へ入社。2013年に東京南支店、2018年にビジネス開発本部へ異動後、2019年からNTT東日本 経営企画部営業戦略推進室、NTTアグリテクノロジーに在籍。



リモートワーカーとして移住を決意

中戸川さんが秋田市で暮らすのは、今回で2度目。NTT東日本へ入社し、最初に配属されたのが秋田支店でした。2012年に悠花さんと結婚し、2013年に東京南支店へ異動後、2019年からはNTT東日本の経営企画部 営業戦略推進室のビジネスコーディネーター、そしてNTTアグリテクノロジーとして勤務。日本の農業が抱える様々な課題を解決するため、IoTやICT等の最先端テクノロジーを駆使したシステムの開発や提供に携わってきました。

「東北への出張が多かったため、家で過ごす時間がほとんどありませんでした。そのうちに家族や子育てのことを考え、自然が多く環境に恵まれていて、妻の実家がある秋田で暮らすのが最善と考えるようになりました」。ちょうど

その頃、NTTグループでは新たな働き方として、リモートワークが基本となる「リモートスタンダード」の運用開始を2022年7月から予定していました。

「なるべく子どもにストレスがかからないように、年度末の移住を申し出ました。すると上司が『家庭をしっかり守れ』と背中を押してくれて希望が通ったので、本当にありがたかったです」。こうして異動することなく2022年3月に移住し、NTT東日本のリモートスタンダード第一号として、新たな働き方がスタートしました。

のびのび暮らし、自然を満喫

移住には秋田市の補助金を利用したという中戸川さん。「実は当初、職種を変えない移住でも補助金がもらえることを知らなかったのですが、秋田市東京圏移住支援事業(P32)で一世帯100万円支給してもらえました(2022年3月当時、現在は子育て世帯加算あり)。私の場合は自主的な異動のため引越し費用は会社負担になりませんでしたから、引越し費用に充てることができて大変助かりました」。

悠花さんの実家のほど近くに引っ越したことで、子どもたちが実家に歩いて遊びに行けたり、悠花さんも地元の友人とランチを楽しめたりと、家族全員の心のゆとりにつながっていると中戸川さんは実感しています。「子どもたちをのびのび育てたかったです。学校帰りに児童館で勉強して、学校近くの神社で友達と待ち合わせをして遊ぶ様子を見てみると、引っ越して良かったなと」。

休日には家族で温泉やスキー場などに出掛けるなど秋田の自然を満喫しているようで、「セ



秋田市へ移住したことで、仕事の充実はもちろん、家族の心の充足感が高まったことを実感している中戸川さん

リオンは天気がいいと見晴らしがいいですし、海風も気持ちいいですね。秋田は道が空いているから時間を有効活用できる。思いつきで出掛けられて、車移動のストレスがないところが良い点だと思います」と住みやすさを話します。子どもたちは竿燈まつりへの参加も意欲的で、季節ごとの秋田の魅力を家族で共有しています。

全国のロールモデルを秋田から

2022年夏、秋田県にて「スマート農業産地モデル実証(ローカル5G)」(事業主体:農研機構)がスタートすると、中戸川さんは国や自治体、生産者、大学、研究機関、民間企業など、26団体の代表機関として奔走する日々が始まりました。実証分野は経営管理から生産、販売に至るまで多岐に渡り、主にローカル5Gとリアルメタバースという最新技術を用いて進められています。

「仕事を一から教えてくれた秋田の先輩に成長した姿を見せたい、農業を中心とした地域社会に貢献したいという思いは常にあります」と、改めて秋田市に移住した動機を語る中戸川さん。秋田での身近な温泉や雪景色など非日常体験が新しい発想を生み出すことや、秋田在住だからこそなし得るプロジェクト体制の強化など、リモートワークならではの気づきがそこにはありました。

「今後は秋田の魅力を全国へ発信し、日本各地の情報を秋田に取り入れながら、農業や食品産業全体の競争力を強化していきたい」と語る中戸川さんの瞳には、日本の農業の未来が映し出されています。

第11回移住WEB相談会



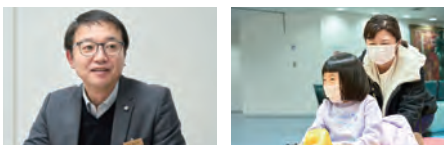
子どもと暮らす2度目の地元は、 安心感と再発見がいっぱい。

■東京都から移住

棚谷 健一さん
倫子さん
ご家族

■棚谷健一さん/1980年生まれ、秋田市出身。秋田市内の大学を卒業後、市内のIT企業にSEとして入社。東京への転勤、都内のIT企業への転職を経て、2020年に秋田市へ移住。株式会社ローカルパワーのDX推進室室長として勤務。

■棚谷倫子さん/1981年生まれ、秋田県大館市出身。学生・社会人時代は秋田市で過ごす。結婚を機に2011年秋に上京、2016年に出産。



人とつながりがある“大好きな地元”

大学も就職先も秋田市を選んだ棚谷健一さんにとって、家族や友人など、人間関係の土台がある「地元」は、今も昔も大好きな場所です。しかし、29歳のとき、東京転勤の辞令をきっかけに上京し、都会での生活を送ることになりました。その後、学生時代の同級生である大館市出身の倫子さんと結婚。2016年には娘の結美ちゃんが生まれました。「その頃は仕事も家族との生活も、東京がベースになっていました。それでも、いつか秋田市に帰りたいという気持ちは、ずっと持ち続けていました」と健一さん。

そんな時、健一さんの母親が病に倒れてしまいました。大好きな地元と大切な父母への想い、さらに転職を希望するタイミングが重なり「い

ローカルパワーは、除菌消臭水「iPOSH(アイボッシュ)」などのプロダクト事業をはじめ、体育館や車両のシェアリング事業、物流や医療分野のDX事業を展開する会社。健一さんが担うのは、デジタル技術による課題解決です。



つか帰りたいという夢」は「身近な目標」に変わったと言います。

「前々から夫がいつか秋田に戻りたいと思っていることは知っていました。想像より早いタイミングだったので驚きましたが、夫の父母も心配ですし、私自身も実家が近くなる安心感があり賛成しました」と倫子さん。

移住にあたっては、秋田市移住相談八重洲センター(P30)へ相談をしました。センターでは移住関係の補助金の中から棚谷さん一家が利用できるものを探し、すぐに秋田市の担当者につないでもらいました。秋田市の子育て世帯移住促進事業で、引越し代を補助してもらえたことは、大きな助けとなったそうです。このほか、書類の書き方を丁寧にチェックしてくれたり、移住にまつわる細やかなサポートをしてもらいました。

一方、健一さんの秋田市での転職活動は、コロナ禍で思うように動けず難航しました。しかし、ここで大きな縁が生まれます。地元の親友から、株式会社ローカルパワーを紹介されたのです。決め手となったのは、会社がITエンジニアを探していた時期と、SEである自分の経歴がうまくマッチングしたこと。そして、信頼する親友からの紹介が何より嬉しかったそうです。「自分の土台」である地元でのつながりが、移住を後押ししてくれた瞬間でした。ここでも秋田市の担当者が手厚くサポートをしてくれ、雇用契約書のチェックの仕方などを教えてもらいました。

移住後は、受発注のシステム構築と、そのシステム自体を外に販売するDX業務を担当。転職した当初は、社長直轄の案件を担う「社長室」の配属にも抜擢され広報を兼務しました。今までやったことがない新しい分野、そしてこ

れまでの経験を活かせるDXの分野で、楽しく仕事に打ち込んでいます。

再発見！すべてがそろっている街

移住する時に一番心配だったのは、子どもが転園することで寂しがるとはならないかということ。しかし、娘の結美ちゃんはすぐに転園先に馴染んでくれ、ほっとしたそうです。そして秋田市で子どものいる生活を送る中で、この街の新たな魅力にも気づくことができました。

「秋田市は、コンパクトにいろんなものがそろっていることが分かりました。普段の暮らしは不便なく過ごせていますし、ちょっと車で行けば大きな公園、温泉、海、キャンプ場があって、子どもを思い切り遊ばせられるのもいいですね。無料の屋内遊戯施設もいっぱいあって、天気の悪い日も遊べるので助かっています」と健一さん。

「雪で遊べる、冬も楽しめるのは秋田ならではのですね。子どもにとっては雪は空から降ってくるプレゼントですよ。実は私はスキー部出身。せっかく秋田に戻ってきたので、久しぶりにスキーをやりたいと思っています」と倫子さん。

健一さんはキャンプやバーベキュー、倫子さんはウィンタースポーツと、これからも子どもと一緒に「自然を楽しむ暮らし」を送っていきたいと考えています。

「秋田市って思ったより都会なんですよ。確かに東京にはたくさんのお店があるかもしれませんが、秋田市にだって数は少ないですけどすべて揃っていますから。そしてお店の数が少ない分、秋田には自然があふれています」と健一さんは秋田の魅力を語っていました。



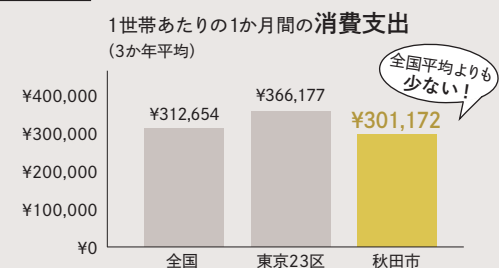


秋田市データ

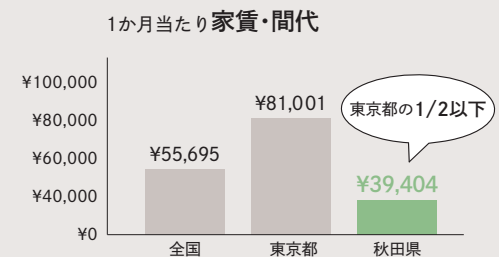
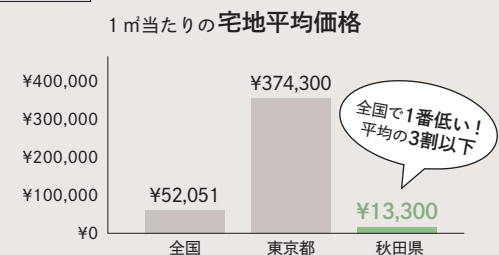
ライフプランを 考えてみよう!

東京のような大都市の暮らしと秋田市の暮らし、両者にはそれぞれ特徴があります。各種統計調査の結果等から、生活費や暮らしの特徴・違いについてまとめました。

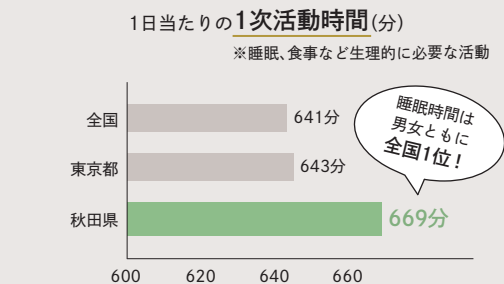
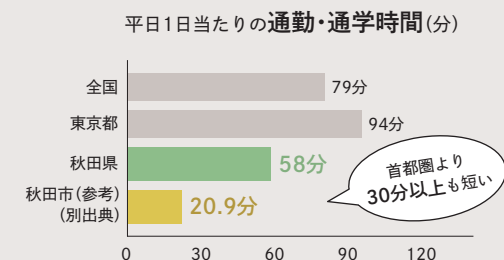
支出



住環境



生活時間



子育て

安心して出産・子育てが できるまち

秋田市は、妊娠・出産・子育てのための手厚いサポートを用意。地域で育児のあれこれを気軽に相談できる環境づくりを行っています。

POINT 1

秋田市版 ネウボラ

「ネウボラ」とは、子育ての先進国であるフィンランドが行っている育児支援制度で、「相談する場」という意味。母子保健コーディネーター(助産師)に、妊娠・出産・子育てについての相談が可能です!

子ども未来部 子ども健康課 秋田市八橋南1-8-3 秋田市保健所 ☎018-883-1175
●平日 8:30~17:00 ☎土・日曜、祝日、年末年始



POINT 2

産後 こんにちは赤ちゃん訪問・産後ケア事業

「こんにちは赤ちゃん訪問」では、生後4か月(3か月末)までの赤ちゃんのいるすべての家庭に訪問し、助産師または保健師が、無料でお母さんのからだや育児のご相談に応じます。また、産後のお母さんと赤ちゃんがケアを受けられる「産後ケア事業」を行っています。団体の詳細は ▶P12

子ども未来部 子ども健康課 秋田市八橋南1-8-3 秋田市保健所 ☎018-883-1175 ●平日 8:30~17:00 ☎土・日曜、祝日、年末年始

POINT 3

子育てナビゲーター

専門の相談員が子育て家庭のニーズに合わせた相談や情報提供を行っています。保育所・認定こども園・幼稚園の違いや、入所の申込みに関すること、子どもの一時預かりや育児サークルの紹介など、気軽にお問い合わせください。

子ども未来部 子ども未来センター 秋田市東通仲町4-1アルヴェ5階
☎018-887-5340 ●9:00~17:00 ☎土・日曜、祝日、12/29~1/3 ※面接相談は予約制

施設の詳細は ▶P13



子育てのことなら 「秋田市子育て情報誌」

引っ越したばかりの子育ては不安。でも、このガイドがあれば安心。子育てに関する相談窓口やお出かけスポットなどを掲載しているので、お役立てください。



小児救急外来

子どもの急な病気やケガに対応! 小児科医が常駐して対応しています。

市立秋田総合病院 秋田市川元松丘町4-30
☎018-823-4171 ●診察時間 平日24時間(一般外来 8:30~17:00/土・日曜、祝日 9:30~22:30)

秋田市子育て情報
【公式サイト】
https://www.kosodate-akita.com



【LINE ID】
@akita_city



各保育園等情報・病児保育・一時保育情報



子育て支援活動団体

親子で集える子育てサロンや託児などさまざまな子育て支援活動を行っています。

NPO法人 ここはぐ



おもに産前産後ケア・サポートに力を入れています (P11)。妊娠・出産・子育てに役立つ産前産後カフェ等のイベントや講座を開催し、HPやFacebookで随時紹介しています。流産や死産、新生児死等を経験された方のお話し会も定期開催しています。

◎事務局：秋田市上北手荒巻字堺切24-2 ☎070-1148-5589 ◎https://kokohug.jp/



子ども子育て応援ハウス Growing up



通所型産後ケア施設 (P11) です。乳房ケアや育児相談などの個別相談・指導・子育て学習会など、様々なサービスを提供しています。

◎秋田市手形字西谷地68-3 ☎018-802-8272 ◎https://tampopo-gu.jp/



秋田子育て支援サポーター団体 CHERISH



子ども連れでも安心してゆっくり飲食ができる親子カフェや、妊婦さんからベビー、チャイルド向けの豊富なレッスンの他、ママ向けレッスン等。幅広いレッスンも参加可能です。※完全予約制

◎秋田市茨島4丁目3-36 秋田アスレチッククラブ2階
☎070-5326-4059 ◎http://cherish-akita.com/

NPO法人 秋田育さば ドリームエンジェル

家族皆さんで楽しめるサークル活動を月1回開催。子ども服から小物まで『ぐるり』リユース会を月2回開催。小さなお子様も安心してご参加ください。

◎秋田市雄和田草川字太田38-1 ☎018-853-8199
◎http://akitadrem.com/

育児サークル「愛あいクラブ」

未就園児の親子を対象に毎月一回開催しています。お子さんは保育士等と遊びながらママは育児相談や情報交換ができる場です。詳細はHPをご覧ください。参加費は無料です。

問い合わせ 秋田赤十字乳児院
☎018-884-1760 ◎http://akita-nyuji.jrc.or.jp/

Pour Bebe (プール・ベベ)

日本人も外国人も一緒に参加できる多言語通訳付きの子育て支援講座を無料で実施しています。

◎pour.bebe.akita@gmail.com
◎公式SNS @pour.bebe.akita ▶



NPO法人子育て・高齢者介護サポート ばっけの会

◎秋田市南通亀の町1-25 ☎018-834-4733
◎http://bakke.akita-npo.org/

NPO法人 子育て応援Seed

秋田市子ども広場(P13)を運営。



◎秋田市上北手荒巻字堺切24-2 ☎018-828-3167
◎http://kosodate-seed.sakura.ne.jp/

親子のためのプレイスポット in AKITA City



子どもを遊ばせながら育児相談 子ども未来センター



「子ども未来センター」は、乳児から就学前の子どもを対象にした施設。大型遊具や木製遊具などがあります。

■楽しいイベントを開催

毎月1回、お子さんの月齢、年齢に合ったイベントを開催。

■保育園等の入所相談&育児相談もお気軽に

子育てナビゲーターが電話や面接などにより、相談に応じます。相談時間/9:00~17:00 (土・日曜、祝日、12/29日~1月3日はお休み) ※面接相談は予約制

■そのほか、さまざまな相談を受け付けています

◎秋田市東通仲町4-1アルヴェ5階 ☎018-887-5340
◎9:00~18:00 ◎12/29~1/3 ◎施設使用料/無料



自然科学学習館

「自然」「宇宙」をテーマに身の回りの様々な事象に関する科学的な見方を広げ、科学的な体験をすることができます。

◎秋田市東通仲町4-1アルヴェ4・5階 ☎018-887-5330 ☎9:00~18:00
◎月曜(月曜が祝日のときは次の平日)、年末年始(12/29~1/3) ◎施設使用料/無料

身近な場所で親子交流

子育て交流ひろば (市内7ヶ所)



市内7ヶ所にある市民サービスセンターには、未就学児童と保護者のための「子育て交流ひろば」があります。子どもを遊ばせたり、情報交換ができたりするほか、育児に関する相談にも応じています。

■育児講座

本の読み聞かせなど、楽しい講座を開催。ママ友達をつくる機会としての参加もOK!



子どもの短時間預かりもOK!

秋田市子ども広場

秋田市が運営している、無料の遊び場。保護者同士の交流・情報交換もできます。有料で短時間の預かりも行っています。

■託児コーナー

買い物などの間に利用できる短時間の預かりを行っています。当日の申し込みもOK! 調乳室、沐浴室もあり。

■遊びコーナー

木製遊具もあり、木のぬくもりを感じることができます。授乳室や子どもトイレもあり。

◎秋田市中通2-8-1 フォンテAKITA6階 ☎018-893-6075

子ども家庭相談

子どもの育て方やしつけ、虐待に関する事など
◎018-887-5339 ☎相談時間 9:00~18:00
◎日曜、12/29~1/3はお休み ※面接相談は予約制

女性の悩み相談

生き方や人間関係、夫婦関係、DV(ドメスティックバイオレンス)など
◎018-887-5698 ☎相談時間 9:00~18:00
◎日曜、12/29~1/3はお休み ※面接相談は予約制

家庭教育相談(ぐりーん・えこー)

不登園や不登校、友だち関係やいじめ、ことばや発達の違い、勉強や習い事、問題行動など
◎018-887-5337 ☎相談時間 9:00~18:00
◎日曜、12/29~1/3はお休み ※面接相談は予約制

ヤングケアラー支援相談電話

ヤングケアラーに関する事
◎018-887-5655 ☎相談時間 9:00~17:00
◎土・日曜・祝日、12/29~1/3はお休み

中央市民サービスセンター(センタース)

◎秋田市山王1-1-1 秋田市役所2階 ☎018-888-5652

東部市民サービスセンター(いーぱる)

◎秋田市広面字釣瓶町13-3 ☎018-853-1082

西部市民サービスセンター(WESTER)

◎秋田市新屋敷町13-34 ☎018-826-9007

南部市民サービスセンター(なんびあ)

◎秋田市御野場1-5-1 ☎018-838-1216

北部市民サービスセンター(KITASKA)

◎秋田市土崎港西5-3-1 ☎018-893-5985

河辺市民サービスセンター(カワベリア)

◎秋田市河辺和田字北条ヶ崎38-2 ☎018-882-5146

雄和市民サービスセンター(ユービス)

◎秋田市雄和妙法字上大部48-1 ☎018-886-5530

子どもと遊ぶわくわくランド!

秋田県児童会館「みらいあ」

プラネタリウムや子ども劇場、レクリエーションホール、図書館、宇宙や光に関する展示室など、たくさんの施設が集まった場所です。大きな施設なので雨の日でも走り回って、遊ぶことができます。



◎秋田市山王中島町1-2 ☎018-865-1161 ☎9:00~17:00
◎月曜(月曜が祝日のときは火曜)、年末年始(12/29~1/3)

保育所・幼稚園も安心のサポート

共働き夫婦が安心して仕事ができるようにと秋田市は待機児童「0」に取り組み、年度当初の調査で12年連続達成しています。仕事と育児を両立するためのサポートも行っていきます。



POINT 1 12年連続待機児童「0」を達成

(令和4年4月1日時点)

POINT 2 子育てサービスも充実

生活の基盤をつくるためには、仕事も大切。秋田市では、安心して子どもを預け、仕事ができるよう、待機児童「0」に取り組んでいます。また、保育料の無償化など、未来を見据えた子育て支援を行っています。

未就学児童への助成

所得等に応じて保育料の助成を行っています。

問い合わせ **子ども未来部子ども育成課**
☎018-888-5692

すこやか子育て支援事業

保育所(園)・認定こども園・幼稚園等に通園する子どもの保育料および副食費が一部助成・免除されます。※所得に応じて助成割合が異なります。

保育料無償化事業

平成30年4月2日以降に生まれた第1子および、平成28年4月2日以降に生まれた第2子以降の保育料を全額助成します。※所得制限あり。

[PR]

一緒に働く仲間を募集しています!

歯科衛生士募集中



子育て中のママでも働きやすくずっと活躍できる環境です

しっかりした育成プログラムで経験が浅くても安心です

歯科衛生士としてキャリアアップできる仕組みが整っています

予防に力を入れている診療体制と充実した設備です

各種制度あり

- 奨学金代理返還制度
- 確定給付型企業年金(はぐくみ基金)制度
- ワークライフバランス手当(最大2万円)

結婚や育児で女性の皆さんのライフステージが変化しても、一生のキャリアとして続けられるようワークライフバランスに特化した環境作りを行っています。当院の理念は「家族愛の醸成～家族愛と笑顔を育むやさしい歯医者がそこにある～」です。クローバーデンタルに縁あって深く関わる人々とその家族を心から思いやり笑顔を育み、健やかな日々と前向きな人生をサポート致します。 **院長 山岡 薫**

一般歯科/小児歯科/歯科口腔外科【託児あり】

クローバーデンタル
TEL.018-836-0968

診察時間 月～土 9:00～12:30/14:00～17:30 休診日 日曜・祝日
秋田市千秋矢留町6番30号トーカンマンション千秋鷹橋1階



採用情報
サイト



YouTube
採用動画



「まずは見学だけでも」

という方もお気軽にご連絡ください。クローバースタッフ一同、心から歓迎します!

全国トップクラスの学力

子どもの「もっと学びたい」を大切にしたい授業を展開している秋田市。その学力の高さは、全国トップクラスを誇り、全国の教育者や保護者からも注目を集めています。



2007年より文部科学省が実施している全国学力・学習状況調査において、学力全国トップクラスをキープしている秋田市。子どもの疑問や気付き、予想など一人ひとりの考えを大切にするとともに、学習の振り返りを通して「わかった」「できた」が実感でき、「もっと

学びたい」につなげる授業づくりにあります。放課後児童クラブや児童館・児童センター・児童室を設置し、子どもたちが学び・遊べる環境を用意。子どもは「地域の宝」として大切に、切れ目ないサポートをしています。

POINT 1 全国トップクラスの学力を支える 学ぶ意欲をはぐくむ授業

文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査で、秋田県はトップクラスの成績を維持しています(現行の方法で実施された2007年度以降)。学びの基本は、多様性や自主性、生きるうえで必要な学びを大切に学校の授業と、家庭学習にあります。秋田公立美術大学や国際教養大学などの7つの大学もあり、全国に誇れる教育環境を有しています。

■一人ひとりへのきめ細かい学習指導

小学1～中学3年生で実施している1クラス30名程度の少人数学級体制を生かし、一人ひとりの考えを大切に授業や、家庭と連携した家庭学習の充実を推進。

■基礎学力調査

秋田市の児童生徒の学力の状況を把握、分析し、その結果を今後の学習指導の改善・充実に生かすための市独自の調査。

■外国語指導助手(ALT)活用事業

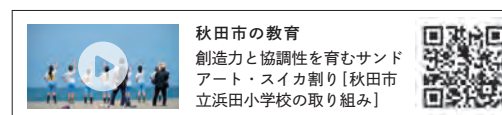
児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、全小・中・高等学校等にALTを派遣。

■特別支援教育の推進

子ども一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図るため、学級生活支援サポーターや学校行事等支援サポーター、日本語指導支援サポーターを派遣。

■児童館・児童センター・児童室・放課後児童クラブ(学童クラブ)

秋田市には各小学校に隣接または近隣に児童館・児童センター・児童室があり、無料で放課後や土曜日など自由に来館し、勉強や遊ぶことができます。その他、秋田市内には有料の放課後児童クラブもあります。



公立学校の都道府県別平均正答率

教科	小学校	中学校
国語	全国1位	全国1位
算数・数学	全国2位	全国2位

※平成31年(令和元年)度全国学力・学習状況調査から



秋田市小中学校情報



児童館・放課後児童クラブなど一覧

POINT 2 公立美術大学、国際教養大学など7つの大学



●秋田公立美術大学



●国際教養大学

- 秋田県立大学
- 秋田大学
- ノースアジア大学
- 秋田看護福祉大学
- 日本赤十字秋田看護大学

子どもたちと一緒に 遊べる公園

多くの人で賑わう
お花見の名所



千秋公園

中央地域

- 千秋公園**
◎秋田市千秋公園地内
- 秋操近隣公園**
◎秋田市泉中央六丁目地内
- 沼田近隣公園**
◎秋田市山王中園町地内
- 八橋運動公園**
◎秋田市八橋運動公園1-10

夏の涼スポット！
噴水広場



小泉湧公園

北部地域

- 光沼近隣公園**
◎秋田市土崎港相染町字沼端地内
- 小泉湧公園**
◎秋田市金足嶋崎字後谷地21
- 前谷地近隣公園**
◎秋田市外旭川字前谷地地内

移住専用ポータルサイト「秋田市いいわ」
「子どもの遊び場」



秋田市には、ぶらりお出かけできる公園がたくさんあります。日本最大級といわれるアスレチックや、お花見で賑わう公園、子どもがじゃぶじゃぶ遊べる噴水公園などなど。お気に入りの公園を見つけてください。

東部地域

- 一つ森公園**
◎秋田市榑山字石塚谷地地内
- 太平山リゾート公園**
◎秋田市仁別字マンタラメ地内
- 広面近隣公園**
◎秋田市広面字碓地内



太平山リゾート公園

西部地域

- 大川端带状近隣公園**
◎秋田市新屋元町、大川町、扇町地内
- 大森山公園**
◎秋田市浜田字大森山29-1



大森山公園

南部地域

- 県立中央公園フィールドアスレチック**
◎秋田市雄和榑川軽井沢55
- 御所野ふれあい地区公園**
◎秋田市御所野地蔵田5丁目地内
- 御所野総合公園**
◎秋田市御所野地蔵田3丁目地内
- 御所野近隣公園**
◎秋田市御所野湯本3丁目地内
- 御所野堤台近隣公園**
◎秋田市御所野堤台2丁目地内

日本最大級の
アスレチック！



県立中央公園

大森山動物園 ～あきぎん オモリンの森～

動物の食事風景を間近で見られる「まんまタイム」や、小動物とふれあえる「なかよしタイム」など楽しいイベントいっぱい。園内には動物園の動物と一緒に遊ぶ空中観察遊具「アソヴェの森」や遊園地もあります。

◎秋田市浜田字潟端154 ☎018-828-5508



地産地消の 郷土の味

海の幸・山の幸がそろう秋田市は、郷土の食も豊富です。とにかく食べ物がおいしい！と言われる秋田ならではの旬の味を堪能してください。



ババヘラアイス

売り子のお母さん(ババ)がアイスをヘラで盛りつけるから「ババヘラ」。秋田の夏の風物詩です。



秋田市民市場

地元でとれた新鮮魚介、山菜、キノコ、果物など秋田の旬の味が並ぶ駅前の市場。味が自慢のお食事処も。秋田市中通4-7-35/018-833-1855



生産者さんたちに出会える

「農家のパーティ」ネットワークの活動では市民が地元産品と生産者さんに出会えるイベントを開催しています。

新しい味を楽しむ

色々なジャンルのお店とキッチンカーが集まるマルシェや食の祭典。新しい秋田の味を堪能できます。



きりたんぼ

セリをたっぷり入れた、秋田の郷土料理「きりたんぼ鍋」や、みそをつけて焼いた「みそつけたんぼ」など味わい方もいろいろ。

レジャーもスポーツもおまかせ！



ブラウブリッツ秋田

1965年創部のTDKサッカー部が前身。2010年にクラブチーム化し、現在はJ2リーグで活躍。



秋田ノーザンハピネッツ

県初のプロスポーツチームで、熱狂的な応援で知られています。B.LEAGUE (Bリーグ)に所属。



秋田ノーザンブルッツRFC

前身は秋田市役所ラグビー部。東日本の地域リーグであるトップイーストリーグに所属。

秋田市は文化と 芸術の発信地

秋田市は藩政時代から明治初期にかけて北前船の寄港地として栄え、そのにぎわいが豊かな文化を育み今日まで受け継がれています。美術館などの文化施設が充実し、自然を生かしたレジャーも豊富です。



すばらしい音響の会場で
コンサートやライブを開催！

あきた芸術劇場 ミルハス

新たな秋田の文化芸術の創造拠点として2022年に開館。高い音響性能を持つ大ホール、充実した舞台設備を持つ中ホール、練習室、研修室、創作室等を備えた劇場です。

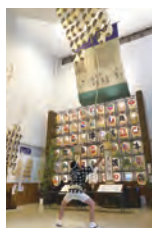
秋田市千秋明徳町2-52 ☎018-838-5822

マルシェやワークショップ
を開催！

文化創造館

新しい活動を生み出す拠点として、多様な文化活動との出会いの場を提供しています。館内各施設の貸出も可能(有料)。

秋田市千秋明徳町3-16 ☎018-893-5656



民俗芸能伝承館 (ねぶり流し館)

「秋田竿燈まつり」など、古くから秋田市に伝わる民俗芸能を資料や映像で紹介。竿燈演技の体験もできます。

秋田市大町1丁目3-30 ☎018-866-7091



国の重要文化財 赤れんが郷土館

ルネッサンス様式の外観が特徴。明治末期に建てられた洋風建築として、国の重要文化財に指定されています。

秋田市大町3丁目3-21 ☎018-864-6851



新屋ガラス工房

工房所属作家や県内外のガラス作家の作品を展示・販売しているほか、カフェも併設しています。吹きガラス制作体験、未就学児対象の手型・足型サンドキャスト制作体験も実施しています。

秋田市新屋表町5-2 ☎018-853-4201



秋田県指定有形文化財 旧松倉家住宅

江戸時代の秋田の町家の趣そのままに、2023年3月オープン。観覧だけでなく、座敷や米蔵などを貸室として利用も可能。多彩な活用方法を発信しながら、歴史、文化を生かしたまちづくりを推進します。

秋田市旭南2丁目7-29 ☎018-811-4003



桜やツツジ、紅葉。
四季を感じる日本庭園

千秋公園

1602年に常陸から国替えとなった佐竹氏が、自然の台地を利用して築城した久保田城の城跡です。現在、千秋公園として市民の憩いの場となっています。

秋田市千秋公園1

秋田県立美術館

市内中心街にある複合施設「エリアなかいち」の中核施設。パリで活躍した洋画家・藤田嗣治の作品を常設展示。

秋田市中通1丁目4-2 ☎018-853-8686

千秋美術館

国内外の優れた作品による企画展等を開催。海外で高い評価を受けた岡田謙三記念館も併設。2024年6月頃まで改修工事のため休館中。

秋田市中通2丁目3-8 ☎018-836-7860

土崎みなと歴史伝承館

ユネスコ無形文化遺産の「土崎神社祭曳山」実物展示や、土崎空襲で被爆した倉庫など、土崎の歴史を体感できます。

秋田市土崎港西3丁目10-27 ☎018-838-4244



8/3~6 秋田竿燈まつり

秋田の夏の風物詩。厄よけ、五穀豊穡などを願う行事として長い歴史があります。約280本もの竿燈の明かりが会場の大通りを埋め尽くし、まるで黄金の稲穂のように夜空を揺らします。



7/20~21 土崎港曳山まつり

港ばやしが響く中、武者人形が飾られた曳山を町内ごとに曳いて練り歩き、2日間を通してにぎやかに活気づき、2日目の「戻り曳山」でクライマックスをむかえます。

海へ!山へ!



桂浜・下浜海水浴場

波が穏やかなこともあり、夏になると県外からも海水浴客が訪れ、多くの人で賑わいます。



太平山リゾート公園 オートキャンプ場

秋田の四季を満喫できるキャンプ場。施設も充実しているため、手軽にキャンプを楽しめます。

秋田市仁別字小水沢134 ☎018-827-2270



太平山スキー場 オーパス

ファミリー向けスキー場。21時までナイター営業をしているため、仕事帰りに楽しむ人も。

秋田市仁別字蛇馬目沢111 ☎018-827-2221

テレワーク

場所を選ばない新しい働き方

秋田市は、首都圏へのアクセスの良さからリモートワーク移住者も増え、リモートワークができる施設も充実しています。秋田市にあるシェアオフィスとコワーキングスペースをご紹介します。全ての施設でWi-Fiが無料で利用できます。



チャレンジオフィスあきた

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

起業家交流室、コワーキングスペース、創業支援室、会議室、面談室を備えた施設。インキュベーションマネージャーが常駐し企業の支援も。入居には審査があります。 [詳細は▶P22](#)

秋田市中通二丁目2番32号 山二ビル7階
018-827-5868



Atelier AL☆VE

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田駅直結徒歩3分。秋田市中心部に位置し、県内外からのアクセスが容易なリモートオフィス。通信環境は超高速大容量かつ高セキュリティのローカル5Gを完備。

秋田市中通仲町4-1秋田拠点センターアルヴェ2階
アルヴェシアター併設 018-837-7488



GALLERIA 大町

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田市中心部に位置する小規模事業者(1名~2名)向けの完全個室完備のシェアオフィス。

秋田市大町1-2-2(あきた保険工房内)
018-853-0557



シェアオフィス mag

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

個別ブースとフリーデスクスペースがあり、新しい仕事の拠点、秋田市外に本社がある仕事の拠点、セカンドオフィスやテレワークなど様々な用途で利用できます。

秋田市中通2-1-48 仲小路ビル地下1階
018-831-5777



Newテラス広小路

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田のおもてなしを感じられる空間で、県内・外から首都圏企業まで、時代に合った働き方で、Wi-Fi 6に対応した環境を提供しています。

秋田市千秋明徳町1-56 018-827-3132



リージャス秋田駅前

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田駅前という立地を活かし、全国展開する大手企業のサテライトオフィスとしても活用されています。

秋田市中通2-2-32山二ビル6階 0120-965-391



COWORKING SPACE SYNERGY

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

クリエイティブな複合施設「ヤマキウ南倉庫」の2階にある施設は「SYNERGY(相乗効果)」をコンセプトにしたコワーキングスペースです。

秋田市南通亀の町4-15 ヤマキウ南倉庫2階
070-3102-0067



コワーキングスペース レンタル レンタルオフィス シェア シェアオフィス 会議室 会議室 Wi-Fi Wi-Fiあり 複合機 複合機あり 駐車場 駐車場あり

PH.Space

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

個室のオフィスは必要ないが、ワークスペースのみ確保したい方や異なる職業や仕事を持つ方々が、オフィス環境を共有し、交流することもできる新しいワークスタイルを提供。

秋田市中通6-6-15 0182-32-6263

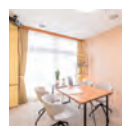


フィンランドの森(ユーランドホテル八橋)

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

温浴施設「ユーランドホテル八橋」の2階。休暇と仕事ができるワーケーション対応施設としても利用できるため、新しいアイデアへ繋がる可能性は絶大!

秋田市八橋イサノ2-16-29 018-863-7811



Connect Labo OMOCE

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田駅から徒歩5分。隣接駐車場にはPHVのシェアカー(有料)を配備。県内の観光地に足をのばし「ワーケーション」を楽しむことも!

秋田市中通4-4-4 018-836-8551



STATION WORK (秋田駅 みどりの窓口・秋田空港)

コワーキングスペース レンタル シェア 会議室 Wi-Fi 複合機 駐車場

秋田駅みどりの窓口内と秋田空港にデスク・Wi-Fi・電源等が整備されたブース型のシェアオフィスが設置されています。

秋田市中通7-1-2(秋田駅) / 秋田市雄和(秋田空港)



テレワークによる移住を 全力サポート!

テレワークを利用する移住者と企業に対して、さまざまな支援を実施しております。是非チェックしてご利用ください。 ※令和5年度時点

企業への支援

企業の取組に対して 最大130万円

1 移住体験支援金 企業が実施するリモートワーク移住体験への支援

●対象経費:旅費、宿泊費、レンタルオフィス利用料等 ●補助率:4/5 ●上限額:80万円 ●対象者:秋田県外に本店等を置く企業

2 サテライトオフィス整備支援金 移住する社員のためのサテライトオフィス整備への支援

●対象経費:サテライトオフィス整備費(内装工事、インターネット回線工事等)、システム経費(ICT機器・ソフトウェア、複合機などの購入またはリース料等)等 ●補助率:1/2 ●限度額:50万円 ●対象者:秋田県外に本店等を置く企業

社員への支援

社員の移住に対して 最大220万円

3 リモートワーク支援金 社員のリモートワーク移住関連経費への支援

●対象経費:[移住1年目のみ] インターネット通信環境整備費、家賃及び賃貸契約諸費 [移住1~3年目まで] 通信費、本社等との交通費、レンタルオフィス利用料等 ●補助率:1/2(家賃及び賃貸契約諸費は1/4) ●限度額:社員1世帯あたり1年目100万円、2・3年目60万円 ●対象者:所属する企業からリモートワークが認められ、秋田県に移住する方等

これらの支援を受けるためには、移住前に手続きが必要です。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ 秋田県移住・定住促進課 018-860-1234 ●iju@pref.akita.lg.jp



東京圏から秋田市に移住し、リモートワークで移住元の業務を引き続き行う方向への補助金については、東京圏移住支援補助金参照 ▶P32

移住の先輩

秋田市データ

子育て

遊ぶ

お楽しみ

テレワーク

仕事

住まい

安心するまち

移住相談

補助金制度

仕事に関する 支援事業

秋田市では、移住を希望される方の疑問に答え、仕事探しのための多種多様な支援プログラムを用意しています。民間企業への就職や、起業にも対応。未経験だけれども、農業や林業へチャレンジしてみたいという方のためのサポートも行っています。

まずはここに相談

自分の力で
起業したい!

★ チャレンジオフィスあきたによる起業支援

秋田市では「チャレンジオフィスあきた」において、起業に関心のある方を掘り起こし、交流から育成・起業までを一貫して支援するほか、創業支援室とコワーキングスペースを低料金で提供しています。

問い合わせ チャレンジオフィスあきた ☎018-827-5868

- 創業支援事業
- Aターン創業支援事業

問い合わせ 産業振興部商工貿易振興課 ☎018-888-5729



- その他、起業・経営相談の窓口

問い合わせ 公益財団法人あきた企業活性化センター ☎018-860-5610
秋田商工会議所 ☎018-866-6677

- 秋田県起業支援事業

問い合わせ 秋田商工会議所 ☎018-866-6677

自分の店を
オープンしたい

- 中心市街地等空き店舗対策事業
- 中心市街地出店促進融資あっせん事業

問い合わせ 産業振興部商工貿易振興課 ☎018-888-5728

農業に
チャレンジ
したい

- 就農定着支援チームによる助言・サポート
- 未来農業のフロンティア育成研修
- 軽トラックの導入支援

問い合わせ 産業振興部農業農村振興課 ☎018-888-5735

- 新規就農研修
- 園芸農業チャレンジ研修

問い合わせ 産業振興部園芸振興センター ☎018-838-0278



秋田市の創業支援ポータルサイト「アキチャレ」

<https://www.akitachallenge.jp/>



秋田市では、創業支援事業計画を策定し、市内の各創業支援事業者と連携しながら、創業希望者に対して窓口相談や起業塾、セミナー、インキュベーション施設、コワーキングスペース、開業後のフォローアップを提供しています。

問い合わせ チャレンジオフィスあきた ☎018-827-5868 ● coa@city.akita.lg.jp

登録・利用は
もちろん無料!



仕事を
探したい

- お仕事を紹介します

無料職業紹介所である「秋田市移住相談八重洲センター」では、ハローワークと同様の登録情報の閲覧や独自の求人もあり、紹介状の発行を行っています。エントリーシートなどの書き方や模擬面接などのサポートも可。詳しくはHPをご覧ください。

詳細は ▶P30

- 企業採用面接交通費等を助成します!

詳細は ▶P32



UIJターンの就職支援の流れ

1
利用者登録

秋田市移住相談八重洲センターに「移住・就職希望者登録カード」を送付(メール・FAXで登録可能)しましょう。「移住・就職希望者登録カード」はQRコードからも取り出し可能です。



2
就職相談

業界・業種ごとの求人情報等についてご相談いただけます。また、具体的な求人情報を紹介します。

3
応募資料作成支援

履歴書・職務経歴書・エントリーシート等、就職活動に必要な書類の作成をお手伝いします。

4
面接対策支援

面接試験時の質問への対応や対策についてお手伝いします。模擬面接も行います。

5
内定・居住地決定

移住の補助金や住宅に関する情報などを提供します。

[PR]



NISSAN 日産プリンス秋田

「お客様との『絆』を大切に、新しい『価値』を提供し、人と社会の『幸せ』に貢献する」をモットーにプリンス秋田は企業活動を行っています。

自動車が生活に欠かせない秋田で、快適なカーライフを実現させることはお客様の生活を豊かにすることそのものではないでしょうか。地域に根差し、一人ひとりのお客様に寄り添う。私たちと一緒に秋田の暮らしを支えませんか。

●会社説明会(対面/WEB)▶▶▶ 随時受付中

応募要件 秋田で頑張りたい方

(連絡先)日産プリンス秋田販売(株)
秋田市保戸野千代田町6-2 採用担当:管理本部 越前
TEL 018-824-1130
Mail o-echizen@prince-akita.co.jp



三井さんが2022年春に入社した「株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOメインキャンパス」は、300社を超えるクライアント企業のエンドユーザーへ、満足度の高い付加価値サービスを提供するグローバルカンパニーです。入社理由を伺うと、「インターンシップで訪れた時に『オフィスがきれいで雰囲気が良い』と感じたのと、じっくり学べる研修制度が自分に合っていると思いました」と笑顔で答える三井さん。

行き届いた研修と福利厚生が魅力

新卒研修を経て海外輸入車メーカーのお客様相談窓口に対応された三井さんは、先輩従業員との1on1のトレーニングで対応スキルを身に付け、夏には一人でお客様対応をするように。「分からないことはすぐに先輩に聞けるので、安心して業務にあたっています」。3ヵ月ごとにフォローアップ研修も実施しており、従業員を育てる環境は万全です。

「福利厚生がしっかりしているところも魅力ですね。社内にはおしゃれなカフェテリアがあり、焼きたてのパンが買えますし、マッサージルームも利用してみたいです」。

企業内保育園や1時間単位の時間単位有休など、子育てをする従業員が働きやすい制度も充実。その環境づくりには現場の声が反映されています。中でも育児短時間勤務制度の利用者は60名を超え、昨年からの対象が小学3年生まで引き上げられました。また、社員寮も完備され、冬季期間のみ利用することも可能です。



自分なりのワークライフバランスを秋田で実現

三井さんはこの一年を振り返り、「春は都内より遅い桜を楽しみました。夏は初めての海釣り、冬は初めてスノボを体験しましたし、家の近くに動物園があるのも楽しいです」と秋田を満喫している様子。東京の友人と比べると、勤務後の自分の時間が確保できることもメリットだと言います。「秋田は暮らすのにそれほど不便はありません。『秋田のお母さんだと思って』と言ってくれる人もいて、秋田の方々の温かさを感じています。これからも楽しく秋田で暮らしていきたいですね」。



PRESTIGE INTERNATIONAL
株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOメインキャンパス
秋田市新屋島木町1-172 TEL 0120-880-993(平日9:00~18:00)
MAIL jinjakita@prestigein.com

従業員募集中 採用情報サイト
見学会とスマホ・PCから参加できるWEB説明会
随時開催中

秋田に住んだらどんな仕事があるのかな？

秋田での仕事探しは / 《秋田県内特化型》就職ポータルサイト

キャリアピタ AKITA

スマホで簡単! 2ステップで登録完了!

LINE友だち追加
情報登録
登録完了

プロフィール
自己PR
希望条件

LINE連携で簡単ログイン!
「求人情報検索」や「選考エントリー機能」を使ってみよう!

こんな機能がある!

スカウト受信
あなたの採用を希望する企業から価値あるオファーが届きます!

チャット機能
チャット機能で業務内容や会社の雰囲気を気軽に質問!

企業からオファーが届くかも!?

秋田で就職できた!!
「キャリアピタAKITA」であなたにぴったりの仕事が見つかる!

くわしくは [キャリアピタAKITA](https://www.caripita-akita.com) で検索!
<https://www.caripita-akita.com>

Instagram

powered by **秋田銀行**

暮らしの拠点となる家探し

「住まい」といっても、市内中心街に近く融雪設備が整っているマンション、郊外の広々とした一戸建て、エリアも物件もさまざま。秋田市でどのような暮らしをしたいのかをイメージしながら、住まいを探しましょう。秋田市では、住宅リフォームなどへの補助金があるほか、「空き家バンク」では売買・賃貸物件の情報も提供しています。



秋田は、一戸建て住宅比率 No.1

土地が安い秋田では、一戸建てマイホームの比率が全国トップクラスです。

秋田県の土地価格は、全国最安価

住宅地平均価格	13,300円/㎡	全国最安価
住宅地価格指数	3.6(価格指数：東京都=100)	全国最安価

※国土交通省「令和元年都道府県地価調査」から

秋田県の一戸建て住宅・持ち家比率

一戸建て住宅比率	79.8%	全国1位
持ち家比率	77.3%	全国1位

※総務省統計局「社会生活統計指標」から

住まいに関するサポート

● 秋田市空き家バンク制度

秋田市内の賃貸・売却を希望する空き家情報を、利用希望者へ紹介するサービス。秋田暮らしを考えている人は、ご相談を。

● 秋田市住宅情報ネットワークサイト

秋田市内の不動産物件紹介のポータルサイトです。空き家バンクや不動産関係団体の不動産紹介サイトから物件を検索できるほか、補助金や移住定住の取組なども、紹介しております。



● 秋田市空き家定住推進事業

一定要件の空き家を購入または賃借し、市外から移住して定住するために、リフォーム工事等を行う方等に対し、改修費用を補助します。

● 秋田市住宅リフォーム支援事業

秋田市内に住所を有し、自らが居住し所有する住宅、親または子が所有し自らが居住する住宅などの、市内業者が施工する50万円以上の増改築やリフォーム工事を行う方に補助します。

● 秋田市多世帯同居推進事業

多世帯家族が同居するために必要な住宅の改修等にかかる費用に対し補助します。

問い合わせ 都市整備部住宅整備課 ☎018-888-5770

● 秋田県住宅リフォーム推進事業

秋田県では、子育て世帯が行う住宅のリフォーム工事に対し、持ち家型(18歳以下の子2人以上と同居)の場合、工事費の20%最大40万円、中古住宅購入型(18歳以下の子1人以上と同居)の場合、30%最大60万円を補助します。また、移住・定住世帯(県外から県内に住所を移動しようとする者等で、一定要件を満たす者)が行う住宅のリフォーム工事に対し、定着回帰型の場合、20%最大40万円、中古住宅購入型の場合、30%最大60万円、断熱・省エネ改修の場合、工事費の10%最大8万円を補助します。

問い合わせ 秋田県建設部建築住宅課 ☎018-860-2561

まずは「秋田市を知る」ために、一度いらして体験してみませんか？

最高5万円を助成！

オーダーメイド移住体験ツアー あなた仕立ての移住体験

秋田市への移住をお考えの皆さまを対象に、オーダーメイドの移住相談ツアーを助成します！！



■ 日程・コース・助成金(上限) 希望に応じてオーダーメイドでツアーを実施します。
費用：交通費・宿泊費を合わせた実費 助成上限：5万円/世帯(2万円/人)

■ 申し込み方法 秋田市ホームページから「秋田市移住相談ツアー申込書兼助成金交付申請書」を記入の上、ツアー実施希望日の30日前までに申請してください。

■ 審査方法 提出いただいた申請書について内容を審査し、交付決定又は不交付決定を通知します。予算の範囲内で実施するため、年度途中で募集が終了する場合があります。

問い合わせ 秋田市移住相談八重洲センター TEL 0120-99-1101
〒104-0031東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル6階 FAX/03-6665-0189

要綱など
詳しくはウェブへ



宿泊料・交通費助成！

秋田暮らしをお得に体験 秋田市移住体験住宅

秋田市の民泊施設と連携して秋田市移住体験住宅を実施しています。秋田市の移住体験住宅の宿泊に係る宿泊料および当該住宅までの交通費を助成します！



■ 助成金(上限) 宿泊料 5千円/世帯員・泊 (上限10万円/世帯・6泊7日まで)
交通費 2万円/世帯員 (上限5万円/世帯)

■ 申し込み方法 利用を希望するかたは、対象となる民泊施設の予約をした上で、利用を開始する予定の日の14日前まで(移住相談ツアーも利用されるかたは30日前まで)に以下の書類を秋田市に提出してください。

- 秋田市移住体験住宅助成金交付申請書(様式第1号)
- 移住体験住宅の予約をした内容が確認できる書類の写し
- 交通費の経費を確認できる書類の写し

問い合わせ 秋田市移住相談八重洲センター TEL 0120-99-1101
〒104-0031東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル6階 FAX/03-6665-0189

要綱など
詳しくはウェブへ





秋田暮らしの魅力

「暮らしに“あきた”を」をテーマに秋田の住文化を見つめ直し、“秋田らしい暮らし方”を施主と一緒に考えながら住まいづくりをしている有限会社大建のお二人に、秋田暮らしの魅力聞いてみました。

インタビュー：まちづくりファシリテーター平元美沙緒



冬が待ち遠しい！
薪ストーブで炎の見える暮らし

秋田には、冬の時期に家族や仲間と暖をとり、一緒に過ごすという住文化がありました。最近注目されている北欧の“ヒュッケ”という考え方と同じです。大建のお客様の約半数は薪ストーブを希望するそう。遠赤外線での体の芯まであったまり、代謝も良くなるので、長い冬も快適に過ごせます。じゃがバター、焼きリンゴ、ピザ、目玉焼きなどを焼く調理器具としても使えます。

大建では新事業部を立ち上げ、薪の供給を絶やさないようにしています。



秋田に来たら
”自然の恵み”にふれてほしい



代表取締役
佐藤 大作さん

豊かな自然が身近にある秋田に住むなら、暮らしの中に自然を取り込み、思いっきり楽しむのがおすすめです。山があり、海があり、四季の移ろいがはっきりしていて、旬のものが常に手に入る。そんな秋田の自然の恵みを楽しむための家づくりを大建はご提案しています。



大建には半自給自足を目指している人や、山登りや釣り、山菜採りや食べ歩きを趣味としているスタッフがいいます。家づくりの前に、まずは秋田での暮らしの魅力について語り合しましょう。秘密の観光スポットや旬の食材、雪よせのコツなども伝授いたします！



課長 高橋 慎也さん



「HARE CLASS」展示場／秋田市茨島6丁目16-15
営業時間：AM10:00～PM5:00(時間外での対応可)
定休日：毎週水曜日

暮らしに「あきた」を

018-883-0825 秋田市山王6-16-3

大建 秋田 検索 Mail: info@daiken1.com

「木の家」施工事例公開中

総合建設業 ● 秋田県知事登録(般-3)40455 ● 宅建免許番号 秋田県知事(5)第1741号
● 建設業 許可番号 秋田県知事19-10A-0972 ● (公社)秋田県宅地建物取引業協会会員

@daiken0825

安心するまち

安心して暮らせるまち

医療機関や福祉施設がバランスよく立地し治安がよく犯罪件数が少ないため、子どもから高齢者まで安心した生活ができます。

いざというときも安心！医療施設

- 中通総合病院**
①秋田市南通みその町3-15
☎018-833-1122
- 秋田厚生医療センター**
①秋田市飯島西袋1-1-1
☎018-880-3000
- 秋田赤十字病院**
①秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
☎018-829-5000
- 秋田県立循環器・脳脊髄センター**
①秋田市千秋久保田町6-10
☎018-833-0115
- 秋田大学医学部附属病院**
①秋田市広面字蓮沼44-2
☎018-834-1111
- 市立秋田総合病院**
①秋田市川元松丘町4-30
☎018-823-4171
小児救急はP.11

福祉施設も充実

- 体育館や屋内プールなどもあり、幅広い年代が利用できます。
- 秋田県中央地区老人福祉総合エリア**
①秋田市御所野下堤5-1-1
☎018-829-2151



エイジフレンドリーシティ

世界保健機関(WHO)が提唱する「エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)」の実現に取り組んでいます。

- 65歳になったら「高齢者コインバス」—シニアアキカを使って出かけよう—
- 福祉保健部長寿福祉課** ☎018-888-5666
アキカの詳細はP.33
- 中心市街地は循環バス「ぐるる」が便利！
- 都市整備部交通政策課** ☎018-888-5766

安心・安全のまち秋田

<p>刑犯認知件数 全国4位(2.48件)</p> <p>窃盗認知件数 全国4位(1.75件)</p> <p>秋田県：人口千人あたり(令和2年)</p>	<p>交通事故発生件数 全国5位(137.7件)</p> <p>交通事故死傷者数 全国7位(163.2人)</p> <p>秋田県：人口10万人あたり(令和3年)</p>
--	--

※総務省統計局「社会生活統計指標」から

こんにちは 北都銀行 です。

北都銀行は、いつもお客様のそばに
何でもお気軽にご相談ください。

秋田でお待ちしております！

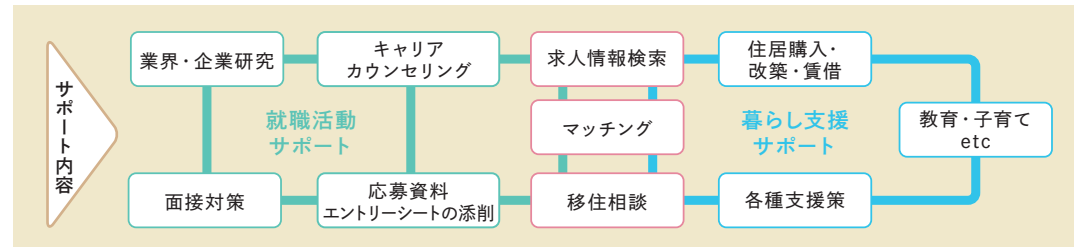
北都銀行 検索



移住を考えたなら、まずはこちらへ

移住相談窓口紹介

秋田市暮らしの基盤となる、あらゆることをサポート！電話でも面談でも相談OK！
面談をご希望の場合は、事前にご連絡ください。



秋田市移住相談八重洲センター

受けられるサービス

2人の専門相談員が移住希望者のご相談に対応するほか、無料職業紹介所として紹介状の発行や仕事のマッチングなどを行います。また、就職活動に必要な履歴書や職務経歴書などの応募資料の添削も行っています。

- 秋田市での仕事の紹介
- 暮らしについてのご相談
- 移住の補助金の説明

※面談のほか、電話、メール、オンライン(予約制)での相談が可能です。



まずは「秋田市移住相談登録」にご登録いただくことから移住相談がスタートします！

詳しくは秋田市移住相談八重洲センターサイトURL検索またはQRコードを読み取って、ご確認ください。

☎ 0120-99-1101 ✉ ro-pltk@city.akita.lg.jp

📍 東京都中央区京橋1-4-14 TOKIビル6階 ☎ 03-6665-0189

🕒 9:00~17:00 ※平日の時間外と土曜日は予約制となります。

🗓 土曜・日曜・祝日・年末年始

🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1013018/1020507.html>



市HP

就職・補助金

秋田市移住相談
八重洲センター【相談】



八重洲センター
紹介動画



東京駅 八重洲口から徒歩約4分

P.32「企業採用面接交通費等の助成」の窓口

秋田市移住相談センター


☎ 03-3234-6871 ✉ ro-pltk@city.akita.lg.jp

📍 東京都千代田区平河町2-4-1
日本都市センター会館11階 秋田市東京事務所内

☎ 03-3234-6873 🕒 相談時間 9:00~17:00

🗓 土曜・日曜・祝日・年末年始

🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1013018/1016858.html>




東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分

P.32 補助金申請書類の提出窓口

秋田市企画財政部 人口減少・移住定住対策課

☎ 018-888-5487 ✉ ro-plpo@city.akita.lg.jp 📍 秋田市山王 1-1-1 秋田市役所 4階 ☎ 018-888-5488

🕒 相談時間 8:30~17:15 🗓 土曜・日曜・祝日・年末年始 🌐 <https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/index.html>



秋田市いいわ

移住者交流会

地域おこし協力隊が移住者の情報交換&お友だち作りをサポートする交流会を開催しています。



地域おこし協力隊が送る秋田市暮らし情報

Facebook: @akitacity okoshi

Instagram: @akitacity_kyoryokutai

Twitter: @akitacity okoshi

Youtube: @user-hb6ff4zf8w

LINE: @akitacity 110

移住専用ポータルサイト「秋田市いいわ」

その他の問い合わせ先 **公益財団法人秋田県ふるさと定住機構**

📍 秋田市御所野地藏田3-1-1 秋田テルサ3階 ☎ 018-826-1731 🌐 <https://www.furusato-teiju.jp>

移住の補助金

令和5年度の制度です。制度は毎年度変わるので詳しくはHPをチェック！

1 秋田県 はじめての秋田暮らし応援事業
県内に移住された方に助成あり！他にも水族館等施設割引で使えるパスポートももらえるよ！

問い合わせ 秋田県 あきた未来創造部移住・定住促進課 ☎018-860-1234

移住前に、移住希望登録！

以下の全ての補助金は移住前に①の移住希望登録が必要です！

事業補助金 ②③④ 重要ポイント ▶ 1.移住前に申請 2.県外から移住し、仕事を新たににする方
申請は秋田市への転入日以前に行う必要があります。制度の詳細はQRコードを参照してください。

2 秋田市 東京圏移住支援事業補助金 東京圏から移住する方の生活必需品等購入に要する費用を補助します。

対象世帯	単身世帯	一律 60万円	対象経費	用途不問
	2人以上の世帯	一律 100万円		
	子育て世帯加算 (18歳未満の方が対象)	対象人数分加算あり		

3 秋田市 子育て世帯移住促進事業補助金 子育て世帯の住宅の新築・購入、賃借、転居および生活必需品等の購入の費用を補助いたします。

補助額 対象経費	住宅の新築および購入に係る費用	上限 100万円
	【子育て加算】18歳未満の子一人につき、10万円(ひとり親の場合は15万円)を加算。 【市内業者加算】市内に主たる事務所を有する事業者と契約し、新築又は購入した場合、50万円を加算。	
	住宅の賃貸借契約に係る費用	上限 20万円
	【子育て加算】18歳未満の子一人につき、10万円(ひとり親の場合は15万円)を加算。	
	転居・移動手段の確保・家具・家電の購入に係る費用 <small>※経費の対象は下部④対象経費を参照。</small>	上限 20万円
	【子育て加算】18歳未満の子一人につき、10万円(ひとり親の場合は15万円)を加算。	

4 秋田市 若者移住促進事業補助金 若者の住宅の新築・購入、賃貸および生活必需品等の購入の費用を補助します。

補助額	補助対象者一人につき	上限 20万円
	県外出身者加算	15万円
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅の新築・購入、賃借に係る初期費用および転居費用 ●家具(テーブル、イス、タンス、ソファ、テレビ台、カーテンなど) ●生活家電(テレビ、洗濯機、レンジ、冷蔵庫、エアコン、掃除機など)の購入に要する費用 	

5 秋田市 企業採用面接交通費等の助成 市内企業への採用面接に係る交通費などの一部を助成します。

助成金額	関東地方および北海道地方	20,000円	東北地方(秋田県を除く。)	10,000円
	近畿地方および中部地方	25,000円	九州地方・沖縄地方、中国地方および四国地方	30,000円

問い合わせ 秋田市移住相談八重洲センター ☎0120-99-1101 / 秋田市移住相談センター ☎03-3234-6871

アクセス

秋田市へアクセス

陸・海・空のアクセスが
そろい、国内移動が楽ラク

陸・海・空の交通機関がそろいアクセスが抜群の秋田市。北東北に位置しながらも、飛行機を利用すればあっという間に国内主要都市へ行くことができます。

● JR線

東京-秋田(秋田新幹線「こまち」) 最速3時間37分
仙台-秋田(秋田新幹線「こまち」) 最速2時間5分
新潟-秋田(特急いなほ号) 最速3時間32分

● 飛行機

東京(羽田空港)-秋田 約1時間5分
札幌(新千歳空港)-秋田 約1時間
名古屋(中部国際空港)-秋田 約1時間20分
大阪(伊丹空港)-秋田 約1時間25分

● 高速道路

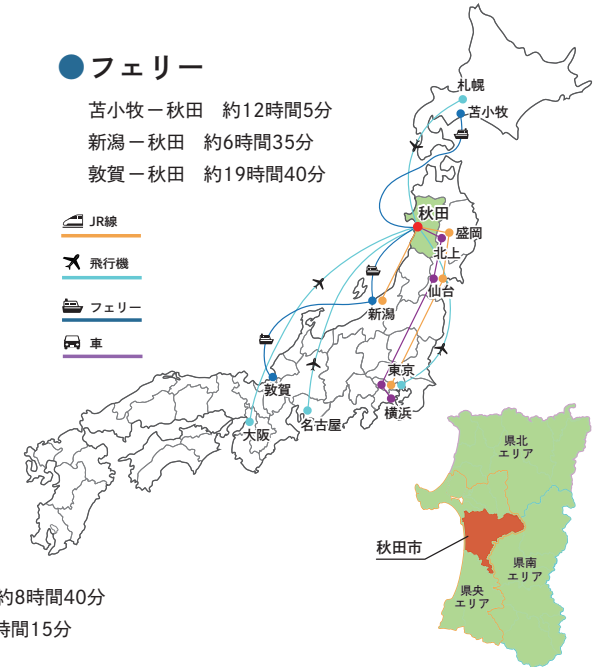
東京(東京都内)-秋田(秋田中央IC) 約7時間30分
仙台(仙台宮城IC)-秋田(秋田中央IC) 約3時間

● 高速バス

東京(東京駅八重洲南口)-秋田(秋田駅東口) 最速約8時間40分
横浜(横浜駅YCAT)-秋田(秋田駅東口) 最速約11時間15分
仙台(仙台駅前)-秋田(秋田駅東口) 3時間

● フェリー

苫小牧-秋田 約12時間5分
新潟-秋田 約6時間35分
敦賀-秋田 約19時間40分



秋田の交通系ICカードといえば 地域連携ICカードAkiCA

アキカ

秋田中央交通株式会社が発行する「AkiCA(アキカ)」およびJR東日本が発行するSuica(モバイルSuica含む)のほか、全国相互利用可能な交通系ICカードによる運賃の支払いが可能です。

※鉄道駅(一部除く)でのSuica利用は2023年5月27日よりサービス開始。



シニアアキカ

満65歳以上の高齢者が、市内の路線バス等を1乗車につき100円で利用できる「高齢者コインバス事業」